

◎2月例会（第511回）は、オミクロン株のリスクを避けて、残念ながら中止します。

◎3月の例会（第512回）は、実施の可否を3月10日ごろ判断します。
実施の場合のコースは、繰り延べが続いている「奈良・白毫寺」です。
五色椿などが見ごろになっていることでしょう。

3回目のワクチン接種も進みつつあり、飲める特効薬の開発もあと一歩。
一日も早くコロナが収束し、笑顔で再会できる日が待ち遠しい気持ちです。

唐突ですが、本編なしの蛇足です。

寺内町（じないまち、じないちょう）を訪ねてみたい



写真は、一昨年2月に燦歩した大阪・富田林（とんだばやし）市の趣のある街並みです。

その一角が朝ドラ「カムカムエブリバディ」に登場していたことは、この欄で1月初めにご紹介した通りです。江戸時代、河内国富田林の町は、浄土真宗富田林御坊（ごぼう）の境内に営まれた寺内町として栄えました。

寺内町の魅力は、寺を中心とした戦国時代以来の街の歴史、そして残された美しい町並みです。町を防衛するための環濠が残っている所もあります。



奈良県橿原市の今井町は一向宗の道場称念寺の境内に築かれた寺内町です。今もおよそ500棟の建物が昔ながらの姿を残し、国の重要伝統的建造物群に指定されています。

写真の河合家住宅（国重要文化財）は江戸時代から酒造業を営んできた二階建て町家の豪邸です。

燦歩会の記録を辿ると、2006（平成18）年1月に、橿原神宮に初詣し、その足で今井町を尋ねています。



和歌山県御坊市は 2018 年 3 月に歩いています。

このお寺は本願寺日高別院。西本願寺御坊、日高御坊とも呼ばれ、その「御坊」が今も市の名となっています。

右端の巨木はイチョウで、1595 年にここに植えられて以来、寺と町の歴史を見守って来たのです。

寺内町は近畿を中心に多く営まれましたが、一体どれほどあったのでしょうか？ ネットで検索するだけで、なんと 30 を超える地名が挙がって来ました。

これは楽しみです。

歴史の波の中で盛衰は当然あるでしょうが、その跡を訪ね、街並みを歩いてみたいと思っています。

ご案内

旧友会員の方、職員の方、入会大歓迎です。メンバーは現在 39 名です。入念な下見を行い、中途離脱も可能なルートを設定して、毎月第 4 日曜日に歩いています。

4 月からの予定は、 ◎灘五郷酒蔵めぐり（兵庫） ◎大阪空港 迫力の滑走路を一周（大阪・兵庫） ◎京街道を高麗橋から守口へ（大阪） ◎天理軽便鉄道跡を歩く（奈良） ◎隠岐の島（島根） ◎京都トレイル（第 5 回） ◎浪花文學散歩（大阪） ◎寿長生（すない）の郷（滋賀） ◎京の五花街を巡る（後半）（京都）

参加ご希望の方は、会務担当 山村恵一にご連絡下さい。

（電話：090-1484-4403、メール：y-yamamura@ares.eonet.ne.jp）

コロナに注意しながら、一緒に気軽に楽しく歩きましょう。

（写真・文 生島 幸弥）